各地連にて定期大会開催

サービス連合新聞

〒160-0002 東京都新宿区
四谷坂町9-6 坂町Mビル2階
サービス・ツーリズム産業
労働組合連合会
TEL 03-5919-3261
発行人　石川聡一郎

サービス連合の各地方連合会（以下、地連）は、２０２２年７月26日に開催された第22回定期大会後に、８月25日に開催された中部地連定期大会を皮切りに、９月14日の沖縄地連定期大会まで６つの地連が順次、定期大会を開催しましたので、その内容を報告します。

北海道地連

サービス連合北海道地連は、２０２２年８月23日（火）に第22回定期大会をＴＫＰ札幌カンファレンスセンターにて開催しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、参集と電磁（オンライン）を併用する形式での大会となりました。大会議長に函館国際ホテル労働組合の池田代議員を選出し、「２０２１～２２年度運動の中間まとめと補強（案）」、「２０２２秋闘・２０２３春闘北海道地連方針（案）」、「２０２１年度決算報告・会計監査報告」、「２０２２予算（案）」を審議し採択されました。また、役員３名の退任と３名の補選を確認し１期２年の後半がスタートしました。


Web参加の様子（北海道地連）


会場の様子（北海道地連）



成田事務局長（北海道地連）

東日本地連

サービス連合東日本地連は８月30日（火）に第18回定期大会を第一ホテル東京シーフォートにて開催しました。


岡野議長（東日本地連）

本大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン併用での開催とし、代議員については、会場出席41名、オンライン出席32名、特別代議員５名（会場出席）の出席をいただきました。また、サービス連合本部より櫻田副会長にお越しいただき連帯の挨拶がありました。

大会の議長団には長屋代議員（ＩＨＧ・ＡＮＡホテルズ労働組合連合会）、大西代議員（ＪＴＢグループ労働組合連合会）の両名を選出し議事を進めました。今大会では「２０２１～２０２２年度活動方針に関する中間のまとめ（案）と補強（案）」を中心に議論され、「２０２１年度決算・会計監査報告」「２０２２年度予算（案）」とあわせ採択されました。


山川事務局長（東日本地連）

また、「地連役員補充選挙」がおこなわれ、新たな体制が確認されました。今年度も東日本地連の活動への参画をよろしくお願い致します。



新執行部（東日本地連）


会場の様子（東日本地連）

中部地連

サービス連合中部地連は８月25日（木）に第22回定期大会を名鉄トヨタホテルにて開催しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、マスク着用や座席配置、リモートの併用など様々に感染対策を講じた定期大会には役員・代議員など41名が出席し、一部の代議員はリモートでの参加となりました。

四元副議長の挨拶で開会した定期大会は、土本代議員（名鉄観光サービス労働組合）・浅野代議員（都ホテルズ＆リゾーツ労働組合連合会）の２名の大会議長を選出し議事に入りました。

主催者を代表しての杉本議長による挨拶の後、本部石川事務局長からは先の本部第22回定期大会の内容やコロナ禍における私たち観光業の回復に向けた各種の取り組みを中心にご挨拶をいただきました。また、コロナ禍で見送っていた来賓については３年ぶりにお招きすることとし、連合東海ブロックを代表して連合愛知・中島事務局長、サービス連合政策推進議員懇談会から会長の大塚耕平参議院議員、幹事の伊藤孝恵参議院議員とお二人の愛知選挙区選出の議員の方々にもお越しをいただき、それぞれに激励の挨拶を頂きました。

また、議案審議に入る前に、先の本部大会にて提起された「サービス連合の組織体制の検討」について、石川事務局長より改めて説明を受けました。

議案審議においては「２０２１～２０２２年度運動の中間のまとめと補強」、「２０２１年度決算報告・会計監査報告」、「２０２２年度予算」の各議案を執行部が提案し、すべて原案通りで採択されました。

また、本大会において２０２２年度役員補選を行い６名の新役員を選出しました。併せて本大会をもって久野前事務局長（名鉄観光サービス労働組合）、中村吉成前執行委員（伊勢志摩リゾートマネジメント労働組合）、足立見月前執行委員（東武トップツアーズ労働組合）、伊藤祐太前会計監査（エスパシオエンタープライズ労働組合）、笠原一仁前会計監査（ホテルグランコート名古屋労働組合）が地連役員を退任され、役員退任慰労表彰がおこなわれました。



会場の様子（中部地連）



杉本議長（中部地連）



新執行部（中部地連）



西日本地連

サービス連合西日本地連は、８月30日（火）に都ホテル尼崎において第18回定期大会を開催しました。開催にあたり新型コロナウイルス感染防止の観点から、参集とオンラインのハイブリット形式にて開催し、役員、代議員、特別代議員など、合計62名が出席しました。

大会議長団に島崎代議員（近鉄・都ホテルズ労働組合）と金光代議員（阪急阪神交通社グループ労働組合連合



会場の様子（西日本地連）



ハイブリット形式の様子（西日本地連）


眞田議長（西日本地連）

会）を選出し、眞田議長による主催者挨拶のあと、本部の石川事務局長より挨拶をおこないました。挨拶の中では、本部定期大会で確認された運動方針と組織体制の見直しについて述べました。

議案審議においては「２０２１～２０２２年度運動方針中間のまとめと補強」、「２０２１年度決算報告・会計監査報告」、「２０２２年度予算」、「規約改訂」の各議案を審議し、承認されました。その後２０２１～２０２２年度役員補充選挙をおこない、３名の新役員が選出されました。

本定期大会で確認された補強に基づき、加盟組織間の情報共有と意見交換を中心に、連帯と団結を深めて活動を進めてまいります。

九州地連



新執行部（西日本地連）

サービス連合九州地連は、８月30日（火）にＡＮＡクラウンプラザホテル福岡において第22回定期大会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催となった為、２年ぶりの対面式での集合開催となりました。

当日は役員、代議員、特別代議員など、合計35名が出席し、本部の矢野副事務局長も出席しました。

大会議長には草場代議員（ニュースカイホテル労働組合）を選出し、その後、藤野議長による主催者挨拶があり、九州地連のこの１年の活動報告や地連活動に対する謝辞があり、また、先のサービス連合本部の定期大会にて提起された、組織体制見直しに対する議論の要請も併せておこないました。


藤野議長（九州地連）


前田事務局長（九州地連）

議案審議においては「２０２１～２０２２年度運動方針中間のまとめと補強」、「２０２１年度決算報告・会計監査報告」、「２０２２年度予算」、の各議案を審議し、承認されました。

その後、２０２１～２０２２年度役員補充選挙をおこない、６名の新役員が選出されました。

本定期大会で確認された補強に基づき、加盟組織間の情報共有と意見交換を中心に、連帯と団結を深めて活動を進めてまいります。



新執行部（九州地連）

沖縄地連

サービス連合沖縄地連は９月14日（水）、ＡＮＡインターコンチネンタル万座ビーチリゾートにおいて第22回定期大会を開催しました。昨年に続き感染症対策を講じた上での開催となりました。主催者を代表して山中議長より挨拶をおこなった後、本部櫻田副会長より７月に開催された本部第22回定期大会の内容の報告、また本部大会にて提起された「サービス連合の組織体制の検討」について説明を受けました。

議案審議においては「２０２１～２０２２年度運動の中間のまとめと補強」、「２０２１年度決算報告・会計監査報告」、「２０２２年度予算」の各議案を執行部が提案し、すべて原案通りで採択されました。

本定期大会で確認された補強に基づき、沖縄での連帯と団結を深めて、１期２年の２０２２年度最終年の沖縄地連としての活動を邁進していきます。


山中議長（沖縄地連）

２０２２平和行動ｉｎ根室
～北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！故郷への想いをつなごう！　四島交流を進めよう！～

連合は、９月10日（土）～11日（日）において「２０２２平和行動ｉｎ根室」を開催し、サービス連合より小島組織局長がＰＡＴ（ピース・アクション・チーム）として参加しました。ＰＡＴは連合の各構成組織から登録され、平和行動の事務局運営に関わるとともに、ＰＡＴをつうじた経験を自組織の活動に活かす役割を担っています。


2022平和ノサップ集会

平和行動報告

１日目は北方領土問題に対する理解を深め、北方領土返還要求運動を進めるため、北方領土問題の経緯や現状、課題と展望について学び、元島民が故郷・北方四島に寄せる想いなどを聞く「北方四島学習会」を３会場に分散して開催しました。

２日目は根室市納沙布岬・望郷の岬公園で「２０２２平和ノサップ集会」を開催し、５１８名の参加がありました。

主催者を代表して連合芳野会長は「平和で安心な社会は私たちが暮らし働く上で絶対に欠かすことができない。平和を求め、平和を守る。今も昔も、そしてこれから先も、平和は、連合が労働運動に取り組む上で大きな柱となっている。世界の恒久平和の実現に向けて、一緒に平和運動の輪を広げていこう。」と挨拶し、地元根室市の石垣市長からは「連合の皆様には北方領土問題に取り組まれ、励まされた。平和を希求し、正義を貫く連合の想いに、心から敬意と感謝を申し上げる。」とのお言葉がありました。また択捉島の元島民である鈴木咲子さんからは「ロシアが北方四島訪問の協定を破棄した中でも、北方墓参については触れていないことには希望があると思った。日本政府にはロシアとの交渉を継続し、来年からはお墓参りができるようにお願いしたい。」との訴えがありました。



淺野康敏・連合北海道釧根地域協議会会長によるがんばろう三唱

２日間とも地元の方が珍しいとおっしゃるくらいに快晴が続き、根室市内や納沙布岬から歯舞群島や国後島を見ることができました。しかし昨今の状況下において、その物理的な距離以上に「島がより遠くなってしまった」ことに悲しみを禁じ得ませんでした。

今回の平和行動にＰＡＴとして参加し、平和の尊さを改めて認識し深めることができました。平和産業にはたらく者として引き続き世界の恒久平和を誓い報告を終わります。

（報告：サービス連合本部　組織局長　小島　哲）



